令和２年度教育課程特例校・茶花小学校

「海洋教育科」についての保護者等評価

これまで，茶花小学校へ御来校の折や，当校の学校だより等でふれていただいている茶花小独自の教科である「海洋教育科」について，保護者・学校評議員の皆様のお声を紹介します。

❶「海洋教育科」の授業の一例

６年　「ヨロンのタカラ探し！①」　「ヨロンのタカラ探し！②」
「福岡県大牟田市との交流『大牟田サミット』」
「ヨロン海洋教育フェア」

５年　「海の不思議を知ろう」　「サンゴ増殖体験」

４年　「サンゴ礁の海観察会」

↑クリックすることにより，解説 PDF を開くことができます。

❷ 保護者評価より

質問項目
子供は，海洋教育（海に親しむ活動・海を調べ，考える活動等）をとおして，与論のよさを感じている。

保護者評価　（4点満点）
令和2年2学期→3.17　令和2年3学期→3.17　令和3年１学期→3.32

❸ 学校評議員その他の意見より

令和2年度当初は，「『海洋教育科』で何をしているのかが伝わりにくい」との御意見があったため，学校だより等での広報に努めました。その結果，海洋教育科のねらいや取組についての御理解が深まっています。

令和2年度3学期に行った「ヨロン海洋教育フェア」については，「6年生の発表が素晴らしいと思った。地域を巻き込んだ取組を今後も期待しています。」との御意見をいただきました。

新聞　2021年(令和3年) 1月30日　土曜日　社会 (8)

地域活性化のアイデア発表

与論町

海洋教育フェアを初開催

【沖永良部総局】第1回ヨロン海洋教育フェア（与論町海洋教育推進協議会、同教育委員会共催）が20日、同町の茶花小学校を主会場に開催された。茶花小学校で開催、町内3小学校と県立与論高校の児童生徒が、海洋学習を通して考えた地域活性化や環境保全のアイデアを発表した。

フェアは、町内の児童生徒が海洋教育の学習成果を共有し、学びを深める機会とするため企画された。今回は新型コロナウイルス対策として、町内外の4会場をインターネットでつないで開催。町内3小学校と与論中学校、与論高校の5校の児童生徒計16人が参加した。

発表では、島っ子アイデアコンテストと題し、茶花小の6年生20人が6班に分かれて地域活性化のアイデアを競った。審査員は会場に訪れた地域住民らが務めた。最高賞を受賞した特産品開発チームは「特産品で与論の魅力を伝えたい」という目的で、地場産のイカやモズクを使った餃子などを考案。レンジや栄養価の

↑「南海日日新聞」令和３年１月30日（土）朝刊紙面より